

# 新たに開発された硝酸イオン計による 野菜中硝酸イオン濃度の簡易分析

新たに開発された硝酸イオン計による、野菜中の硝酸イオン濃度の簡易分析は、実用性が高いことを明らかにしました。

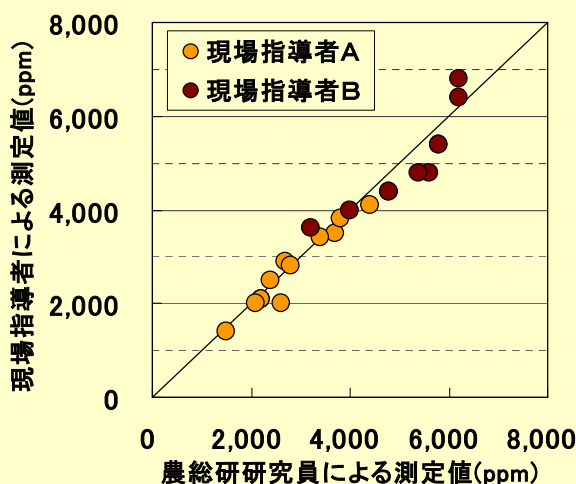
この硝酸イオン計は、生産現場の指導者でも容易に操作できること、ランニングコストが少ないこと、スピーディにできること、また、測定範囲が100～9,900ppmと広くて、色素の影響を受けないため検液の希釈が不要であることなどから、生産現場での簡易分析に適しています。

野菜では、ホウレンソウ、ネギ、ハクサイで利用可能です。

## <新たに開発された硝酸イオン計の実用性>

### ◎ポイント1

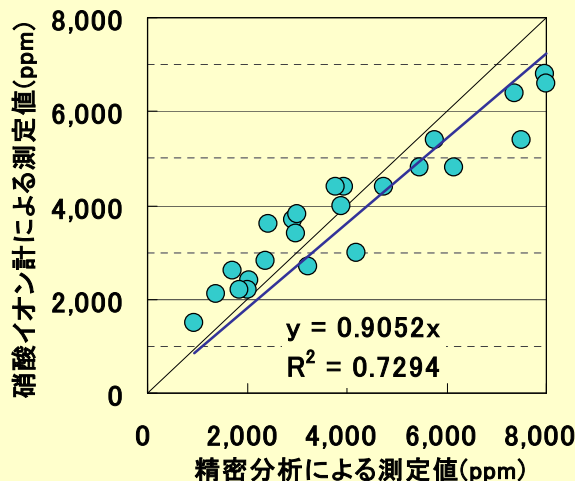
操作が簡便で、測定者の分析技術習熟度の影響が小さい。



研究者と生産現場指導者が行った硝酸イオン計による硝酸イオン濃度測定値の比較（ホウレンソウ）

### ◎ポイント2

精密分析による測定値との差が小さい（分析する野菜の種類による）。



硝酸イオン計と精密分析による硝酸イオン濃度測定値の比較（ホウレンソウ）

参考 硝酸イオン計による作物体の硝酸イオン濃度測定の実用表（開発メーカー資料より）

適合	作物の種類	備考
◎	レタス ハクサイ チンゲンサイ ミズナ	妨害物質の影響が少なく、測定結果をそのまま作物体の硝酸イオン濃度として適用することができる。
○	コマツナ ホウレンソウ	有機酸の影響により、実際の硝酸イオン濃度よりも高めの測定結果が得られる。測定値を補正して作物体の硝酸イオン濃度の目安をつけることができる。
×	ブロッコリー キャベツ	未同定の妨害物質により、測定が困難である。



新しく開発された硝酸イオン計